

高松塚古墳石材・漆喰に関する検討について

国立文化財機構古墳壁画PT材料調査・修復班（石材・漆喰担当）

○令和8年度事業計画

【高松塚古墳壁画及び石室石材の安全な輸送に関する検討】

令和11年度に予定されている高松塚古墳壁画及び石室石材の既存施設から新施設への輸送に向けて、令和8年度は、輸送実施までのロードマップを整理するとともに、基本的な輸送方法の方針決定に向けた基礎的検討を行う。

具体的には、仮設修理施設から新施設への輸送を想定し、フォークリフト等を用いた輸送実験を実施する。石材及び石材フレームに生じる振動負荷を計測し、ハンドリフトによる輸送時の振動負荷と比較することで、輸送方法としての妥当性及び安全性を検討する。

あわせて、これまでに実施した石材及び石材フレームの線形過渡解析結果をもとに、輸送時に弱部となり得る箇所を抽出し、フレームの補強、支持・固定方法等の改善方策を検討する。